

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

'25ウォシュレット一体形取替機能部（11,12パブリック向けウォシュレット一体形便器用）

TCF9A10

当該製品の品揃えは、乾電池式リモコンのみとなります。

現場状況により乾電池式リモコンへの交換ができず、AC100V埋込リモコンが設置されている場合があります。

当資料は、乾電池式リモコン、AC100V埋込リモコンそれぞれの対応方法を記載しております。

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。（メンテナンス性向上のため）

特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

*** 便器洗浄リモコンを併設する場合は、特1～特6で切り替えてください。**

理由：便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため。

正 規 品	(タ イ プ 1)	(タ イ プ 2)	正 規 品	(タ イ プ 1)	(タ イ プ 2)
(タ イ プ 3)	(タ イ プ 4)	(タ イ プ 5)	(タ イ プ 3)	(タ イ プ 4)	(タ イ プ 5)

3. リモコン別の対応方法

使用されるリモコンにより連立設定の方法が異なります。下記より該当する項目を選択してください。

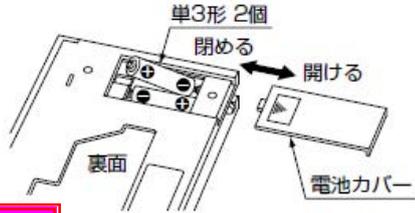
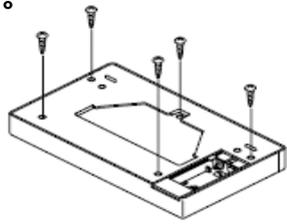
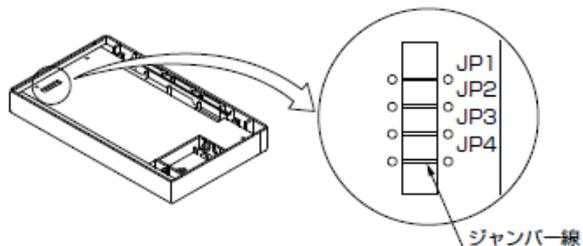
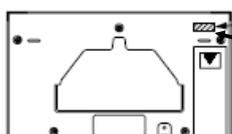
	①同梱の乾電池式リモコンへ 交換する場合	②既設のAC100V埋込リモコンを 継続使用する場合	③既設のAC100V埋込リモコンが 故障した場合
取替 シーン			
対応方法 掲載ページ	2P～3P、8P	4P～6P	7P～8P

連立トイレ対応方法

<<同梱の乾電池式リモコンへ変更する場合の設定方法（リモコン側・ウォシュレット本体側）>>

注： 便器洗浄用リモコンの設定も必要です。

- ・設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOMメンテナンスへご依頼下さい。（有償）
- ・作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。
- ・基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）

手順	特殊コード切り替え方法（リモコン側）																																																							
1	<p>乾電池式リモコン（ウォシュレット本体用）の特殊コードを変更する</p> <p>①電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <p>②『おしり』ボタンを押して、水勢ランプが消えていることを確認する。</p> <p>残留電荷により、水勢ランプが点灯することがあります。 その場合は、水勢ランプが消えるまで『水勢+』ボタンまたは『水勢-』ボタンを押してください。</p>  <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																																							
2	<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> 																																																							
3	<p>リモコン基板上的の4本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断する。 下表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p> <p>* 便器洗浄リモコンを併設する場合は、必ず特1～特6で切り替えてください。</p> <p>理由：便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため</p>  <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!!</p> <p>◎ ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>コード ジャンパ線</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7*</th> <th>特8*</th> <th>特9*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J P 1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>J P 2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>J P 3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>J P 4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎：つながったまま ×：切断</p>	コード ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*	J P 1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	J P 2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	J P 3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	J P 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*																																														
J P 1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
J P 2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
J P 3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
J P 4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>裏板をねじでリモコンに取り付け、リモコンに乾電池を入れる。</p>																																																							
5	<p>リモコン裏面に、切り替え後の特殊コードラベルを貼り、リモコンをリモコンハンガーに取り付けてください。</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>																																																							

連立トイレ対応方法

<<同梱の乾電池式リモコンへ変更する場合の設定方法（リモコン側・ウォシュレット本体側）>>

注：便器洗浄用リモコンの設定も必要です。

- ・設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOMメンテナンスへご依頼下さい。（有償）
- ・作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。
- ・基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）

手順	特殊コード切り替え方法（ウォシュレット本体側）																																																							
6	<p>ウォシュレット本体の特殊コードを変更する</p> <p>ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込む。 （ノズルがイニシャル動作<伸縮>する）</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;"> ご注意!! 設定中の製品以外は電源を投入しないこと </div>																																																							
7	<p>ウォシュレット本体のイニシャル動作終了後（電源が「入」になってから2分以内に）、リモコンの『止』ボタンを「10秒以内に5回」押す。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅する。 （電子音「切」設定時は電子音が鳴らないため設定状態は下表の点滅に従って確認ください。）</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">本体表示部</p> <p style="text-align: center; margin: 0;">★：緑点滅、●：オレンジ点滅、×：消灯</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><運転> </td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td><便座> </td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td><節電> </td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td><温水> </td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> </div>		標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	<運転>	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★	<便座>	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×	<節電>	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●	<温水>	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
<運転>	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★																																														
<便座>	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×																																														
<節電>	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●																																														
<温水>	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																														
8	<p>ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> </div>																																																							

◆ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。

《参考》

■下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。

①リモコン + を10秒間押す

②リモコンランプ全点滅

③リモコン + を同時押しする

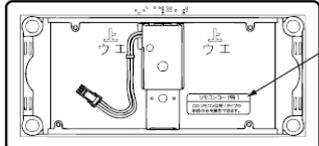
④ウォシュレット本体ランプ5秒間点滅（『手順7』の表に従って点滅します。）

⑤リモコン を押す

連立トイレ対応方法

<<AC100V埋込リモコン継続使用時の設定方法（リモコン側）>>

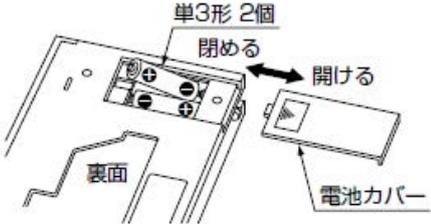
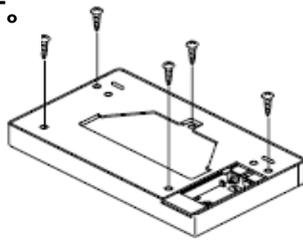
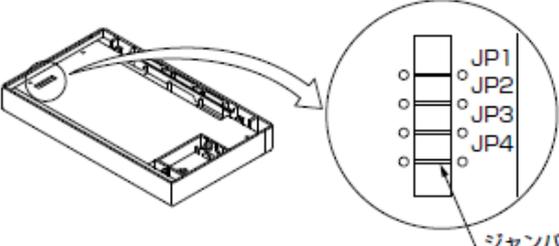
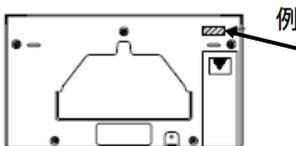
- ・設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。（有償）
- ・作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。
- ・基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）
- ・切替作業終了後、乾電池式リモコンは便器洗浄用リモコンと共に、管理者様へお渡し頂き、大切に保管頂くようご説明ください。（AC100V埋込リモコンが故障した際に使用するため、必要となります）

手順	特殊コード切り替え方法（リモコン側）																																																																		
<p>1</p>	<p>AC100V埋込リモコンの特殊コードを確認する</p> <p>リモコンの  と  を10秒以上押し続ける。</p> <p>⇒ 10秒後にリモコンの水勢ランプが2秒間点灯する。</p>  <p>約10秒後に特殊（設定）モードになり、水勢ランプが下記ようになります。</p> <p>スイッチを押し続けると、約10秒後に水勢ランプが全点灯します。</p> <p>スイッチから手を離すと、水勢ランプが全点滅（2秒間）</p>																																																																		
<p>2</p>	<p>リモコンの水勢ランプが点滅（2秒間）しているうちに、</p> <p>すぐに  を5秒以上押す。</p> <p>5秒後に下表の設定コードを示すランプが点灯するので、特殊（設定）コードを確認してください。</p>  <p>全点滅（2秒間）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水勢 WATER PRESSURE</p>  <table border="1" data-bbox="646 1422 1380 1657"> <thead> <tr> <th>設定コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ステップ5</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ4</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>ステップ3</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ2</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ステップ1</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎…点灯 ×…消灯</p> </div>	設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×	ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎
設定コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																																									
ステップ5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																																									
ステップ4	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎																																																									
ステップ3	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	×	×																																																									
ステップ2	◎	×	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×																																																									
ステップ1	◎	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎																																																									
<p>3</p>	<p>リモコンをはずして、フレームに貼られた特殊コードラベルと確認した特殊コードが一致しているか確認する。</p> <p>特殊コードラベルが貼られていない場合は、スイッチ操作で確認した特殊コードのラベルを新たに貼り付けてください。（リモコンは吸盤ではずしてください。）</p>  <p>コードラベル</p>																																																																		

連立トイレ対応方法

<<AC100V埋込リモコン継続使用時の設定方法（リモコン側）>>

- ・設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。（有償）
- ・作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。
- ・基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）
- ・切替作業終了後、乾電池式リモコンは便器洗浄用リモコンと共に、管理者様へお渡し頂き、大切に保管頂くようご説明ください。（AC100V埋込リモコンが故障した際に使用するため、必要となります）

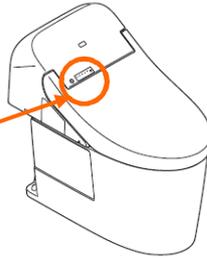
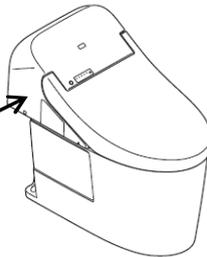
手順	特殊コード切り替え方法（リモコン側）																																																							
4	<p>乾電池リモコン（ウォシュレット本体用）の特殊コードを変更する 電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p>  <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div>																																																							
5	<p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> 																																																							
6	<p>手順2で確認したAC100Vリモコンの特殊コード（特1～特9）に合わせるため、 ※リモコン基板上のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断する。</p>  <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! ◎ ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">* 100V埋込リモコン故障などで、同梱されていた乾電池リモコンと便器洗浄リモコンに変更する場合、特1～特6である必要があります。 理由：便器洗浄リモコン側が、特6までしか設定できないため</p> <p>◎：つながったまま ×：切断</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7*</th> <th>特8*</th> <th>特9*</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7*	特8*	特9*																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
7	<p>裏板をねじでリモコンに取り付け、リモコンに乾電池を入れる。</p>																																																							
8	<p>リモコン裏面に、変更後の特殊コードラベルを貼る。</p>  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>																																																							

◆続いて、[ウォシュレット本体側の切替作業](#)を行ってください。

連立トイレ対応方法

<<AC100V埋込リモコン継続使用時の設定方法（ウォシュレット本体側）>>

- ・設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。（有償）
- ・作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。
- ・基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）
- ・切替作業終了後、乾電池式リモコンは便器洗浄用リモコンと共に、管理者様へお渡し頂き、大切に保管頂くようご説明ください。（AC100V埋込リモコンが故障した際に使用するため、必要となります）

手順	特殊コード切り替え方法（本体側）																																																							
1	<p>ウォシュレット本体の特殊コードを変更する</p> <p>ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込む。（ノズルがイニシャル動作<伸縮>する）</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> <p>ご注意!!</p> <p>設定中の製品以外は電源を投入しないこと</p> </div>																																																							
2	<p>ウォシュレット本体のイニシャル動作終了後（電源が「入」になってから2分以内に）、乾電池リモコンの</p> <p>を  「10秒以内に5回」押す。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅する。 （電子音「切」設定時は電子音が鳴らないため設定状態は下表の点滅に従って確認ください。）</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">本体表示部</p> <p style="text-align: center; margin: 0;">★：緑点滅、●：オレンジ点滅、×：消灯</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><運転> </td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td><便座> </td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td><節電> </td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td><温水> </td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	<運転> 	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★	<便座> 	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×	<節電> 	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●	<温水> 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
<運転> 	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★																																														
<便座> 	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×																																														
<節電> 	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●																																														
<温水> 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																														
3	<p>ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>コードラベル</p> </div>																																																							

- ◆ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず**作動確認**を行ってください。
- ◆切替作業終了後、乾電池式リモコンは便器洗浄用リモコンと共に、管理者様へお渡し頂き、**大切に保管**頂くようご説明ください。（AC100V埋込リモコンが故障した際に使用するため、必要となります）

<<参考>>

- 下記の操作で現在の連立設定状態を確認することができます。

①リモコン  +  を10秒間押す

②リモコンランプ全点滅

③リモコン  +  を同時押しする

④ウォシュレット本体ランプ5秒間点滅（『手順2』の表に従って点滅します。）

⑤リモコン  を押す

連立トイレ対応方法

<<AC100V埋込リモコン継続使用中、故障により乾電池式リモコンへ変更する際の設定方法>>

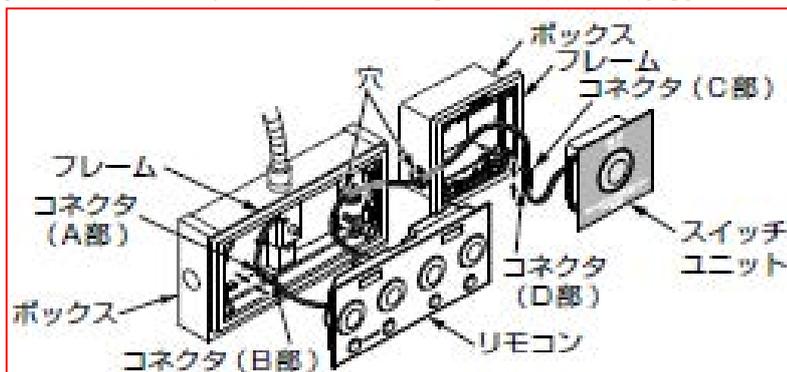
- ・設定変更が下記説明書で行えない場合は、[TOTOメンテナンス](#)へご依頼下さい。（有償）
- ・作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。
- ・基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。（内部精密機器を破壊するおそれがあります。）

手順	特殊コード切り替え方法（リモコン側）																																																							
1	<p>保管していたウォシュレット本体用乾電池リモコンで、特殊コードを確認する</p> <p>ウォシュレット本体の電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込む。（ノズルがイニシャル動作<伸縮>する）</p>																																																							
2	<p>①リモコンの  と  を10秒以上押し続ける。</p> <p>②リモコンランプ全点滅</p> <p>③リモコンの  と  を同時押しする。</p> <p>④ウォシュレット本体の表示部が、下表に従って5秒間点滅する。 （電子音「切」設定時は電子音が鳴らないため設定状態は下表の点滅に従って確認ください。）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>本体表示部 ★：緑点滅、●：オレンジ点滅、×：消灯</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><運転> </td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td><便座> </td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td><節電> </td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>★</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td><温水> </td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>⑤リモコンの  を押す</p>		標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	<運転> 	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★	<便座> 	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×	<節電> 	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●	<温水> 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
<運転> 	★	×	★	×	★	×	★	★	×	★																																														
<便座> 	★	★	×	×	★	★	×	★	★	×																																														
<節電> 	★	★	★	★	×	×	×	●	●	●																																														
<温水> 	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																														
3	<p>ウォシュレット本体の側面に貼られた特殊コードラベルと確認した特殊コードが一致しているか確認する。</p> <p>特殊コードラベルが貼られていない場合は、スイッチ操作で確認した特殊コードのラベルを新たに貼り付けてください。</p>																																																							

◆続いて、[便器洗浄用リモコンの切替作業](#)を行ってください。

【補足】

AC100Vリモコンは、ウォシュレット本体用リモコンと便器洗浄用のスイッチユニットが、壁の裏で接続されています。ウォシュレット本体用リモコンを交換する場合は、**便器洗浄用のスイッチユニットも同時に交換する必要があります。**



連立トイレ対応方法

<<便器洗浄リモコンの設定方法>>

注：基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)



左図便器洗浄リモコンの設定方法

手順	特殊コード切り替え方法 (便器洗浄用リモコン側：タッチスイッチ)																																							
<p>1</p>	<p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。</p> <div data-bbox="279 622 829 761" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> <div data-bbox="877 504 1388 795"> <p>単3形乾電池 2個 開ける 閉める 電池カバー</p> <p>「表側」 「裏側」</p> </div>																																							
<p>2</p>	<p>リモコン裏面の固定ねじ3本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> <div data-bbox="1101 851 1372 1041"> <p>固定ねじ3本</p> </div>																																							
<p>3</p>	<p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、下表にしたがってニッパで切断することにより特1～特6へ切り替える。 *ウォシュレット本体用の乾電池リモコンで切り替えた特殊コードに合わせる。</p> <div data-bbox="351 1131 1276 1713"> <div data-bbox="933 1131 1460 1321" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>ご注意!! ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div> <div data-bbox="598 1187 805 1444"> </div> <div data-bbox="1037 1332 1276 1646"> </div> <div data-bbox="359 1467 885 1713" style="border: 2px solid blue; padding: 5px;"> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>標</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>標</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP1</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP2</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>○</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td></td> <td>JP3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> <td>切</td> </tr> </table> </div> </div>		標	1	2	3	4	5	6	標		JP1	○	切	○	切	○	切	○	切		JP2	○	切	切	○	切	切	○	切		JP3	○	○	○	○	切	切	切	切
	標	1	2	3	4	5	6	標																																
	JP1	○	切	○	切	○	切	○	切																															
	JP2	○	切	切	○	切	切	○	切																															
	JP3	○	○	○	○	切	切	切	切																															
<p>4</p>	<p>裏板をねじでリモコンに取り付け、リモコンに乾電池を入れる。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																							
<p>5</p>	<p>リモコン裏面に、切り替え後の特殊コードラベルを貼る。</p> <div data-bbox="981 1825 1340 1971" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>例</p> <p>リモコンコード特1</p> <p>このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div>																																							
<p>6</p>	<p>ウォシュレット本体用乾電池リモコン、便器洗浄リモコンを設置する。</p>																																							